

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
音楽 一般	27・教芸 中学生の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現および鑑賞の教材において、身につけるべき音楽科における三つの資質・能力が同じ場所に明記され、生徒が意識して学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 表現および鑑賞教材において、丁寧に示された活動の手順や個々の思いが書き込めるワークシートを充実させ、見通しをもって主体的・対話的で深い学びに導く工夫が見られる。 ○ 役割をもった子どもと大人のキャラクターの吹き出しにより、具体的にどの部分に注目して学習を進めたらよいか、どのようなことをどのような流れで話し合えばよいかを例示し、より深まりのある言語活動や協働的な学びを促す工夫がされている。 ○ 我が国の様々な伝統音楽や伝統芸能では、音楽の一部を楽器や口唱歌で生徒が無理なく体験する活動を取り入れ、鑑賞と表現を関連づけた題材構成となっている。 ○ 9年間の系統性を重視し、表現と鑑賞の教材がバランスよく配列されている。主要教材に加えて、ねらいに即した学習内容が有機的に配置されており、生徒の実態に応じて発展的な学習や教材の学習活動の分量を弾力的に増減できるような構成となっている。 ○ 作詞者や作曲者、親しみのあるプロフェッショナルな演奏家からのメッセージや写真の掲載、中学生の心に響く楽曲やポピュラー音楽の選曲等、生徒が音楽に対する興味・関心をもって主体的に学びに向かうよう工夫されている。 ○ 特別支援教育の視点に立ち、色覚等の特性に配慮した配色やUDフォントの使用、レイアウトや囲みの形の工夫等、視認性の高い紙面構成を工夫している。 ○ QRコードが各教材に掲載され、学習に役立つ動画や音声などの情報を視聴、閲覧することができ、生徒一人一人が主体的に深く学ぶことができるよう工夫されている。